

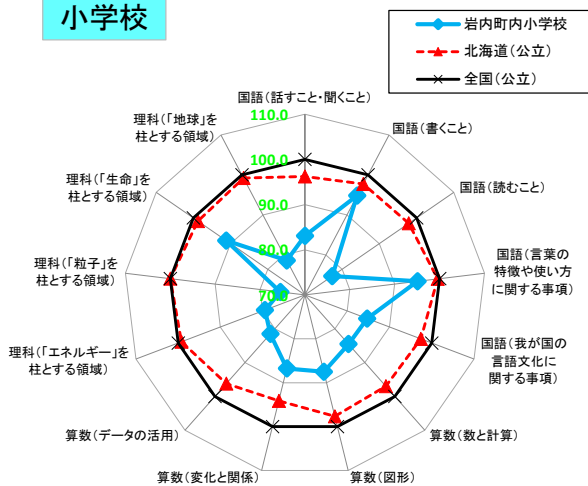
■岩内町内の状況及び学力向上策（小学校数:2校、児童数:50人）（中学校数:2校、生徒数:64人）

【教科全体の状況】

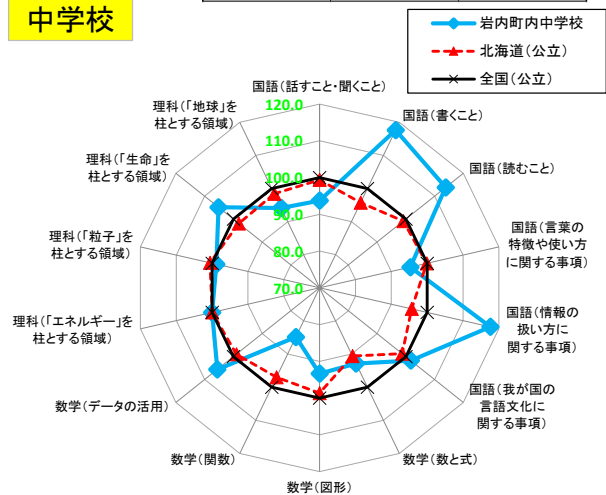
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

平均正答率	小学校	中学校
国語	57	70
算数・数学	54	49
理科	52	49

小学校

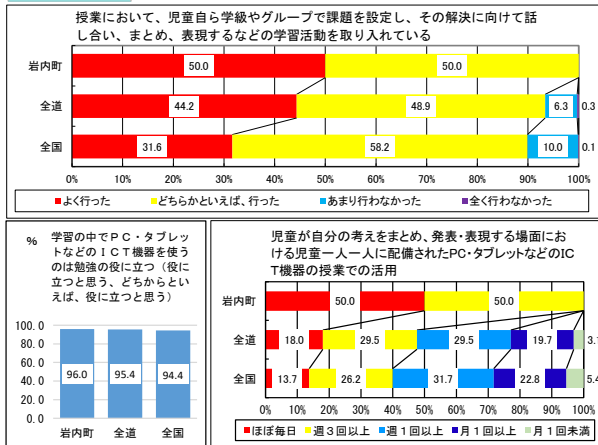


中学校

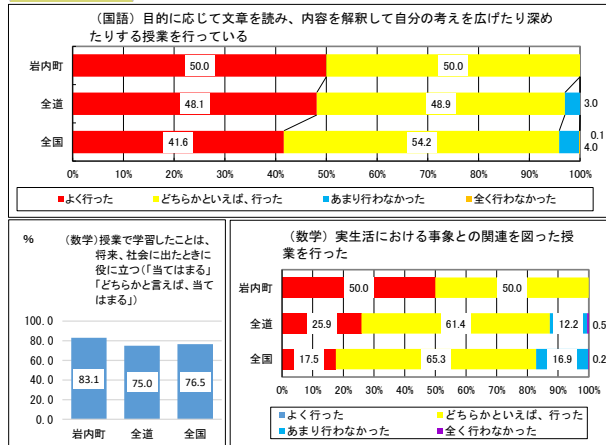


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れたことにより、国語の「書くこと」の領域と「言葉の特徴や使い方に関する事項」において全国及び全道に近付いたと考えられる。

児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面において、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を授業で多く活用したことにより、「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つ」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校

国語において、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりする授業を行ったことにより、国語の「書くこと」「読むこと」の領域と「情報の扱い方に関する事項」において全国及び全道を上回ったと考えられる。

数学において、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、生徒が数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うようになり、数学の「データの活用」の領域において全国及び全道を上回ったと考えられる。

【岩内町の学力向上策】

- ◎ 小中一貫教育の推進
- ◎ 複数教員の配置による習熟度別少人数指導
- ◎ 基礎学力向上の定着を図るための学習指導員の配置
- ◎ ICTを効果的に活用した授業実践